

向日回生

真生会
通信

2023年1月発行



January 2023 冬号

あけまして おめでとぅござんます

新型コロナウイルス感染症の流行は、丸三年を迎えています。現在は、第八波となつていますが、昨年末より国産の治療薬が使用できるようになり、ハイリスク以外の人にも軽症から治療できる選択肢が増えました。抗原検査の普及、ワクチン接種、治療法の確立と相まって、三年前と比べ高齢者の重症化率や死亡率は格段に低下して来ています。しかし感染力は依然として強く、またインフルエンザとの合併で、重症化リスクが約四倍に、死亡リスクは約二倍に増加すると言われています。油断は禁物です。当院も昨年八月と十月に二度クラスターを起こし、患者様並びにご家族の皆様に変々ご心配・ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。今後も職員同一層の感染対策に取り組んで参ります。

さて、政府は世界より遅れているデジタル化を進めるべく、マイナンバーカードの普及に全力で取り組んでいます。その一環として運転免許

証や健康保険証、さらに銀行口座との紐付けをし、一体化していきます。今年の三月以降には全医療機関や薬局でマイナンバーカード保険証が使用できるようにと目論んでいます。カードの普及率が昨年末でようやく五割を超えた程度ですので、まだ時間が掛かりそうです。情報の共有やお薬手帳として利用でき、確定申告時の医療費控除の簡素化が出来る等のメリットがあります。一方で初診料が若干高くなります。徐々に普及していくものと考えています。

また、昨年は当院医師に異動があり戸惑われたことと存じます。本号で現常勤医の紹介を行っています。よろしくお願い致します。全員がベテランですので総合的視野での診療に努め、かかりつけ医として利用して頂き、より専門的な精査の必要があれば責任をもってしかるべき施設への紹介を行います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



向日回生病院院長 **福井 博**

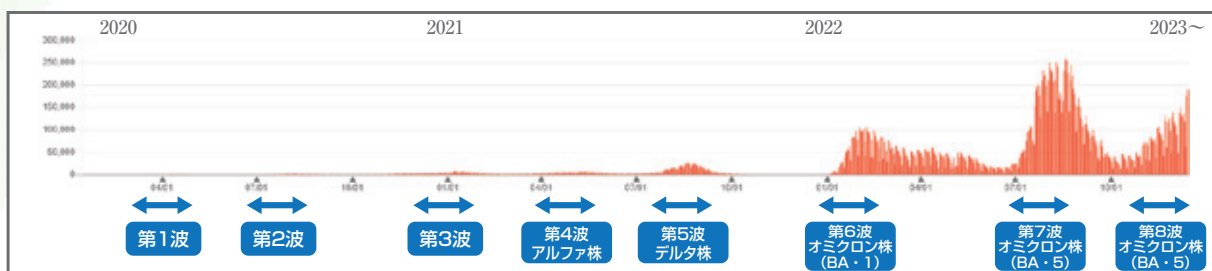
表紙「立春」
撮影：なかつかさ足立医院（西京医師会 足立 晴彦 先生）
「口の光 今朝や鰯の 頭より」（蕪村句）
節分には柀の枝に鰯の頭を刺して門口に取り付け、鬼除けとしました。
今ではほとんど見られませんが、私の子どもの時分にはまだありました。

コロナの今を知る

vol.2

今から3年前の2019年12月、中国の武漢で新型のウイルスが人体に感染し猛威を振るっているという報道がなされました。そのウイルスは新型コロナウイルスとして認知され、世界中に広がり、アルファ株、ベータ株、ガンマ株、デルタ株、オミクロン株へと変異を繰り返しています。日本では10月から増加傾向が続いてきた「第8波」。微増と微減を繰り返しながら、横ばいの状況で年末年始を迎えます。このまま微増減を繰り返すのか、人の動きと共にウイルスが活性化し更なるピークを迎えるのか。また、どのような変異を繰り返していくのかは分かりません。しかし、皆さん一人ひとりが感染について考え、予防することにより、抑え込むことはできるのではないのでしょうか。With コロナの社会において。

【新規陽性者の推移(日別)】～出典 厚労省HPより～



【新型コロナとインフルエンザ】～冬を安全に乗り切るためにできること～

第8波が緩やかに始まり、冬の時期を迎えました。この時期に活性化するもう1つのウイルスがあります。そう、インフルエンザウイルスです。では、新型コロナとインフルエンザではどのような症状の違いがあるのでしょうか？実は…症状はそれほど変わらないのです。

- 共通点：咳、喉の痛み、鼻水などの気道症状・発熱・頭痛・倦怠感・筋肉痛・関節痛
- 相違点：潜伏期間の違い(コロナ→約3日、インフルエンザ→約2日)
※新型コロナが出現した当初は味覚・嗅覚異常が特徴的でしたが、オミクロン株では稀になります。
- 特徴：どちらのウイルスも呼吸器感染症であり、大半が飛沫感染、エアロゾル感染によって広がります。咳やくしゃみ、ウイルスが付着したものに触れた後、自分の口、鼻、目に触れることで感染する可能性があります。
- 予防：接触感染では、今更かもしれませんがこまめな手洗いが有効です。飛沫・エアロゾル感染は屋内でのマスク着用、部屋の換気が重要です。
- まとめ：上記の通り、2つの感染症を見比べてきましたが、症状や対策は共通するものがほとんどです。やはり大切なことはいかに予防するか、感染を広げないようにするかだと思います。私たち一人ひとりの手洗いや手指消毒など、感染防止への意識が更なる蔓延への抑止力となるはずです。

【コロナ2価ワクチン情報】

- ・コロナワクチン **コミナティRTU筋注 [起源株15 μ g + BA・4・5株15 μ g = 30 μ g]**

オミクロン株対応2価ワクチンは、現在主流になっているBA・5にも対応したワクチンへとバージョンアップされています。ただし、このワクチンが接種できるのは3回目からになりますので、1・2回目の接種は従来株のワクチン接種となります。このワクチンはインフルエンザワクチンと同時接種が可能ですが、その他のワクチンとの接種間隔は2週間開ける必要ありますので、ご注意ください。

当院医師紹介

便通異常外来 京都府立医科大学 昭和47年卒



いわい なおみ
理事長 **岩井 直躬**

50年間、大学病院で外科および小児外科の診療と研究に従事し、特に便通異常（便秘、便もれ）の外科治療を専門にしてきました。

これらの経験を活かし、平成30年から当院で「便通異常外来」を木曜日の午後に開設しています。高齢化と共に、女性だけでなく男性の便秘症も増えています。患者さんによって便秘のタイプは異なりますので、おなかのレントゲン写真と直腸・肛門の圧検査を行い、その患者さんに合った治療法を考えています。

日本外科学会認定医 日本医師会認定健康スポーツ医

外科 広島大学医学部 昭和48年卒



ふくい ひろし
院長 **福井 博**

大学病院及び国立呉病院で10年余りに渡り、脳外科・消化器外科・乳腺外科・一般外科等の広範囲に多くの症例を経験し、昭和59年8月より第二京都回生病院（向日回生病院の前身）に赴任しました。当初20年間はその延長上で同様に外科疾患を中心とし診療してきましたが、当院は整形外科関係の患者様が多く、骨折を中心に整形外科疾患も研鑽してきました。その後約20年間は、地域医療連携の中で病院機能分化が進み、守備範囲を決め、広く一般外科・整形外科を診させていただいています。総合外科として初療を確実にを行うことを目指しています。

日本外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医
日本医師会認定健康スポーツ医 麻酔科標榜医

年頭にあたり改めて当院の医師の紹介をしたいと思います!!

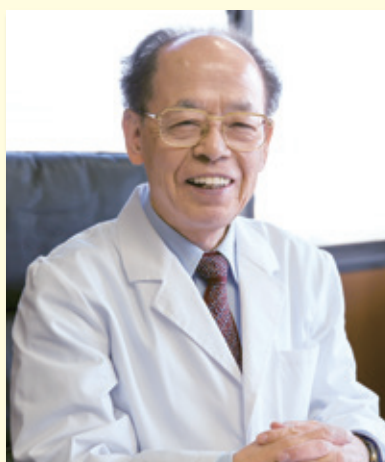


さくだ しげる
副院長 **作田 茂**

内科 三重大学医学部 平成6年卒

昨年(令和3年)11月より、18年間勤めてまいりました京都回生病院より異動してきました。これまでは慢性C型肝炎へのインターフェロンフリー治療(DAA、マヴィレットなど)などの肝疾患への治療と内科一般(総合診療)を行ってきました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

日本外科学会認定医 日本医師会認定健康スポーツ医



こんどう のぶたか
顧問 **近藤 誠隆**

内科 京都大学医学部(昭和35年卒) 勤続37年1ヶ月

一般内科。「患者の権利に関するWMAリスボン宣言」を遵守し、真生会の基本理念「患者本位の医療と介護」を旨として、日々の内科診療に従事しています。

日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医
THP健康測定医 日本病院会人間ドック認定指定医



ながおか たけし
部長 **長岡 武志**

整形外科 日本大学医学部 昭和57年卒

「整形外科」といってもその範囲は広く、外傷から始まり脊椎外科、手外科、股関節や、膝・肩関節疾患、スポーツ医学、リウマチ、小児整形、骨軟部腫瘍、骨粗鬆症まで多岐にわたります。私は整形外科専門医としてすべての分野を涉猟し、普段の診療に役立てています。外来ではできるだけ患者様にわかりやすく説明し適切な治療方針を提案するよう心がけていますので、どのような症状でも気軽にご相談ください。

日本専門医機構 整形外科専門医 医学博士



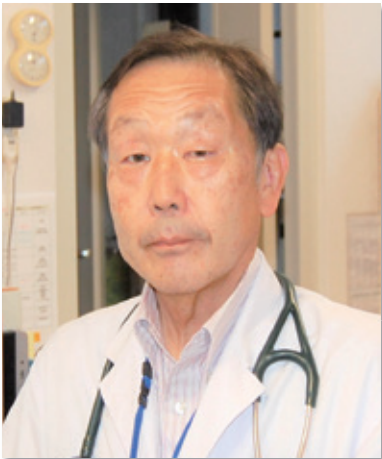
かんの あきひろ
副部長 **菅野 明宏**

外科 岐阜大学医学部 昭和58年卒

消化器外科医としてのキャリアの大半を急性期病院で過ごし、進行癌に対する拡大切除術、高侵襲の手術などに取り組んできましたが、高齢者の占める割合の多い地域の一般病院では侵襲をなるべく抑えた外科治療が求められます。

これまでの経験を活かしバランスの良い医療が提供できるよう心掛けて参ります。

日本消化器外科学会認定医 日本外科学会専門医
日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本医師会認定産業医



なかね たいすけ
医長 **中根 泰輔**

内科 愛知医科大学 平成2年卒

京都府立医科大学で内科の研修しその後京都市内や滋賀県の病院で勤務しています。特に専門はなく一般内科医です。

趣味は釣りやスキーです。スキーはSIAのシルバーの資格を持っています。一応瘤をウエーデルンで滑ります。

釣りは敦賀でします。五目釣りをしていて針にかかったアイゴにチヌが食いつき2尾とも釣り上げたこともあります。

微力ですが向日市の住民の皆さんの健康に役立てばと考えています。よろしくお願い致します。

日本医師会認定産業医



おぐろ みなこ
医長 **小黑 美奈子**

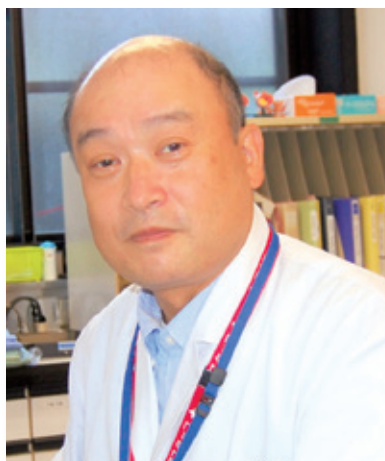
内科 京都府立医科大学 昭和56年卒

この度 西京、洛西エリアの当院に入職致しました。

これまでは高血圧、糖尿病など生活習慣病の外来診療と急性期疾患の入院診療に携わってきましたが今後は慢性期、回復期の診療が主体となりました。

近隣の施設、病院と連携し地域の患者様のお役に立てればと思います。

日本内科学会認定内科医



たかの さとし
医長 高野 聡

内科 高知医科大学 平成7年卒

消火器内科を中心に一般内科を担当しております高野と申します。下部消化管内視鏡検査なども担当しておりますが、現時点では機材の関係もあり、出来ることが限られます。しかし、近日中には、大腸ポリープ切除、内視鏡的止血なども可能になり、こちらを含めた処置を行っていきたいと考えております。腹部・胃腸の不調などありましたら、宜しければ御受診下さい。精一杯診させていただきます。

日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医
 日本消化器病学会 消化器専門医 日本内科学会総合内科専門医
 日本消化管学会胃腸科専門医 日本医師会認定産業医



にしやま あきつぐ
西山 昭嗣

内科 京都府立医科大学 昭和47年卒

火曜日・午前の内科外来を担当しています。
 優しく・易しい診療を心掛けています。

日本内科学会総合内科専門医 日本消化器学会専門医
 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ドック学会認定医

その他、曜日により複数の医師が担当し診療を行っています。

予約制による専門外来も行っています!

- 便通異常・・・毎週木曜 14:00～16:00 岩井
- 泌尿器科・・・第1,3金曜 9:30～12:30 野々村
- もの忘れ・・・第3土曜 9:30～12:30 崔
- 心療内科・・・第2火曜 9:30～12:30 才村



私たちは患者様・ご家族様のご意向を大切に、一人ひとりに寄り添った医療・介護を提供してまいります。



介護医療院

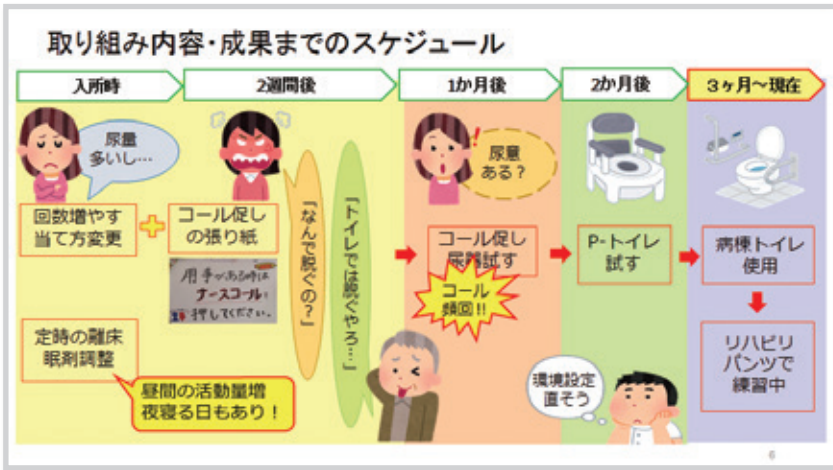
『排泄グランプリ』で

最優秀賞を獲得!!



日常の排泄ケアは欠かせないケアであり利用者様一人ひとりの対応を心がけています。

田中看護部長よりユニ・チャームさんからの情報提供、指導は現場で直接聞く方が良いと、毎月、アドバイザーに来院して頂くことになりました。製品の特性、使い方をはじめ現場で困っている排泄ケアを相談すること、情報交換をすることで問題解決の糸口になり利用者に還元できるケアも増え、個別の状況に応じた対応ができるようになりました。



そして今回ユニ・チャーム ケアアドバイザー相川様より排泄グランプリのエントリーを勧められ、近畿ブロック大会に出場することになりました。発表内容は毎日のように尿取りパッドを外してはシーツや病衣の交換が必要な利用者様でした。はじめは、利用者の不快感を軽減するためにオムツの交換回数を増やしたりオムツの当て方を変えてみた

りタイミングを見計らう、など対策を考えていましたが、それは私たちが「シーツや病衣を交換しないため」に考えた「策」だったのです。利用者に理由を〈聞いて〉〈どうしたいか〉〈そのために〉〈どのような支援が必要か〉を考えるために多職種との連携を行いました。リハビリ担当者の指示、指導を受けながら終日オムツ使用の利用者がリハビリパンツの使用となり、身障者トイレでの排泄にまでステップアップしました。

この取り組みで「利用者の声を聴く」ことが私たちの業であることに改めて気づかされました。今後もこの取り組みで得た経験を生かしてできるだけ多くの利用者様に寄り添う介護を実践していきます。

ケアのプロ集団にお任せを!!



排泄ケア改善の取り組み

Part2

昨年の夏号では「その人らしい生活」「個別ケアの充実」の取り組みの一つである、排泄ケア改善に取り組んでいることをご紹介しました。今回は更に、オムツの使い方をみんなで研究し試行錯誤を繰り返し、分かってきたこと、実践した内容を紹介します。

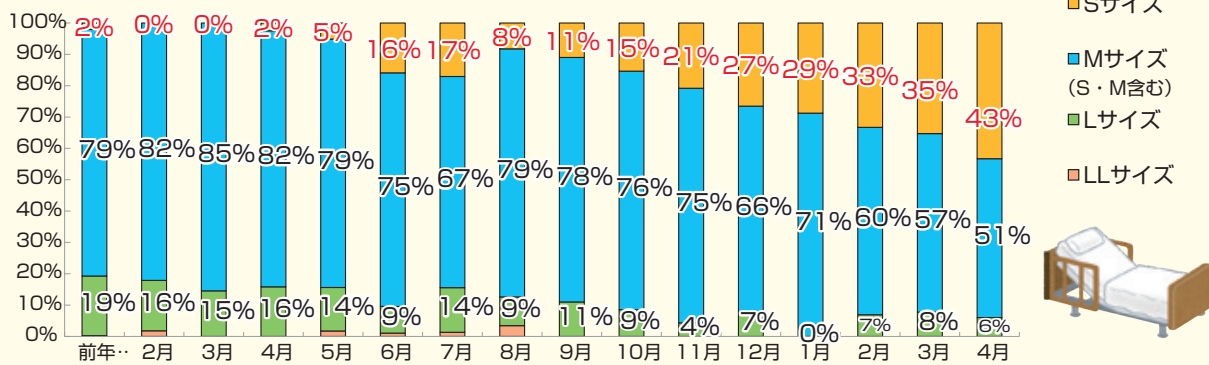
テープ止め・リハビリパンツ



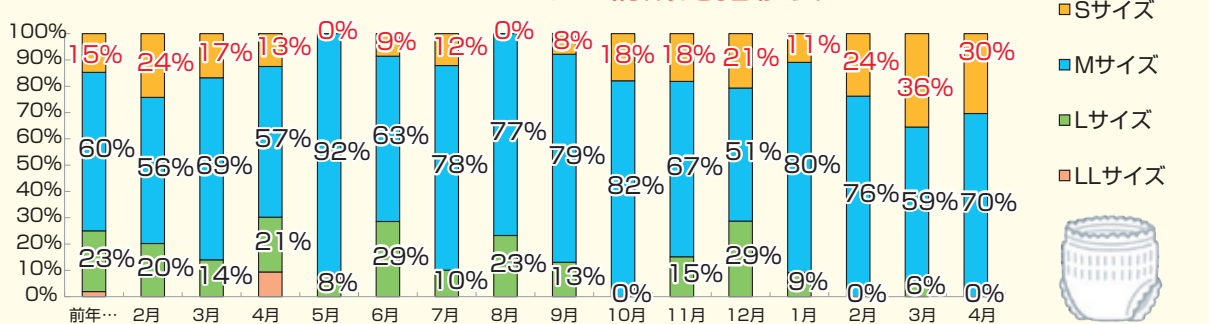
【サイズが安易に大きくなる原因】

- ・腹部・鼠径部のサイズを気にしていない
- ・速く・雑に交換をしてしまう
- ・モレが生じ、大きいサイズで包む・上げ・下げがスタッフにとって楽
- ・おむつ交換後、装着状態の確認不足

テープサイズ構成比推移表



パンツサイズ構成比推移表



Sサイズが多くなってきています◎！

サイズダウン成功のカギ♪

- 😊 あて方の見直し
- 😊 丁寧にあてる技術の習得ができています
- 😊 おむつを使用者の身体的特徴の把握ができています

サイズダウンによって♪

- 😊 モレの削減で介護負担・不快感の軽減
- 😊 フィットしたおむつ装着により24Hおむつ装着感が安楽



～ふれあい箱にご意見 お待ちしております～



当院では「ふれあい箱」をロビーと病棟の5か所に設置しています。皆様からのご意見・ご要望・ご批判・お褒めの言葉などを頂戴し、真摯に受け止め、病院全体で検討し、より良い医療サービスの向上に努めております。お気づきの点がございましたら、どんなことでも結構ですのご投函下さい。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。

今回は、頂いたご意見の内容とその後の対応の一部をご紹介します。



トイレの換気扇が埃だらけ。そんなことがこの病院では許されるのかと驚いている。
昨年夏に清掃をお願いしたが一部分のみ清掃され、今年もそのまま。基本的な事から始めてほしい。



昨年にもご意見を頂戴してたにも関わらず、不快な思いなられたこと、大変申し訳ございません。すぐに清掃業者に依頼し、清掃が完了致しました。今後は清潔な状態を保つように致します。



会計が遅いように思われます。もう少しスピーディーにできたら嬉しいのですが。いつも長く待たされます。



会計の待ち時間が長くなり、申し訳ございません。
早くお呼びできるように努力していますが、皆様の診察終了後に医師や看護師によるカルテの記載や、処方箋の処理、患者様の混み具合等で会計にお時間を頂くことがあります。

今後は職員も処理を速く行い、カルテがスムーズに動くよう工夫と努力を致します。

患者様にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解下さいます様よろしくお願い致します。



外科入り口右側のパーテーションが暗い色なので待合室が暗い。景色も見えず、明るい色に変えてほしい。



現在、パーテーションの必要頻度が低いので、パーテーションを撤去致しました。
ご指摘ありがとうございます。



朝・昼・夕の食事がおいしい。特にご飯が美味しくて、おかずが無くても十分食べられます。おかずもバランスが良く、毎日食事の時間が楽しみです。ありがとう！



ありがとうございます。栄養科に伝え、励みとさせて頂きました。今後もバランス良く、美味しい食事を提供し、患者様を栄養面からサポート致します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。



令和5年の第1弾、冬号です。今回は向日回生病院で外来を担当しているドクターの紹介をしています。写真と一緒にそれぞれのコメントも掲載していますので、ドクターの雰囲気が伝わり少しでも安心して診察を受けていただくと幸いです。

そして、この冬号から表紙の写真は、病診連携いただいている西京医師会の足立晴彦先生にお願いしています。季節感あふれる写真が毎号楽しみです。

皆さんにとって去年はどんな一年でしたか？京都も観光客で賑いを取り戻し、まだまだ以前と同じというわけにはいきませんが、回復の兆しが見え始めた方も多くいるのではないのでしょうか。

今年の干支は「癸卯(みずのとう)」。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。何かを始めるにも縁起が良く希望に溢れていると言われ、新しいことにチャレンジするのもいいそうですよ！

私も目標を決めて、充実した一年にしていきたいと思います。まずは、身近な生活の目標から、“規則正しい生活を心がけ、心身ともに健康で笑顔で過ごすこと 😊”です。

皆さんも身近な小さな目標をたくさん見つけてみてください。

どうか新しい年が笑顔あふれる素敵な一年になりますようにお祈り申し上げます。

こうやまきなみ



外来担当医表

外科

受付	月	火	水	木	金	土
午前	長岡	福井 瀧本	菅野	長岡 川脇	福井	長岡
午後 (専門外来)	—	—	—	岩井 (便通異常)	—	—
夜診	福井	—	菅野	—	長岡	—

内科

受付	月	火	水	木	金	土
午前	作田(初) 小黒(再)	西山(初) 近藤(再)	高野(初) 松岡(再)	小黒(初) 中根(再)	松岡(初) 作田(再)	中根(初) 近藤(再)
午前 (専門外来)	—	才村(心療内科) (第2週)	—	—	野々村(泌尿器科) (第1,3週)	崔(もの忘れ) (第3週)
夜診	川畑	—	高野	—	中根	—

患者様の権利と責務

権 利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります
患者様は、個人として常にその人格を尊重され、病院がなし得る最善・適切である良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 説明や情報を得る権利があります(インフォームド・コンセント)
患者様は、病気、治療、検査、見直しなどについて、十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
3. 選択の自由と自己決定権があります
患者様は、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択し、決定する権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を希望される場合には、当院で受けた診療に関する情報を求める権利があります。
4. 個人情報およびプライバシーが保護される権利があります
5. 診療情報の開示を求める権利があります
患者様は、申請によりご自身の診療記録等の開示を求める権利があります。
6. 研究途上にある治療方法や薬剤の投与(治験)を行うことは、致しません

責 務

1. 自ら健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務があります
良質な医療の提供を受けるために、自分の健康状態について、正確に提供する責務があります。また、病状の変化や治療中に生じた問題については、速やかにお申し出ください。治療上必要な指示や助言は、お守りください。
2. 病院の規則に従い他者への迷惑にならないように努める責務があります
全ての患者様が等しく適切な医療を受けられるようにするために、他の患者様や病院職員に支障を与えないよう配慮する責務があります。
3. 治療等に関して自分の意思を明らかにする責務があります
適切な治療方針を決めるために、自分の意思や意見を伝える責務があります。
4. 加入の医療保険等を提示し、受けた医療に対する医療費を支払う責務があります



向日回生病院、では、各階フロアに「ふれあい箱」を設置しております。皆様のご意見、ご要望等の声を少しでも反映させたく思いますので、お気付きのことがあれば投書ください。